

第6期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	学校における人的支援と放課後デイサービスについて
開催回・開催日	生涯発達支援部会・専門部会 平成30年9月21日
記録担当委員名	生涯発達支援部会 小幡 美穂
<p>【協議概要】</p> <p>① 学校における人的支援について ② 放課後デイサービスの状況 ③ その他</p> <p>*12月障害者週間シンポジウムについて *DET研修について</p> <p>【課題となった事項の整理】</p> <p>① 学校における人的支援について（詳細は資料1参照）</p> <p>◆今年度になり、各小中学校に学習支援員、小学校には特別支援教室専門員が配置されるなど、学校での支援体制整備は進んできた。しかし、各学級におおよそ6%（2～3人）はいるといわれる支援を必要とする児童生徒には、まだまだ足りない状態が続いている。現在、小金井の学校現場では、各学校ごとに地域のボランティアや学生ボランティアを募り支援にあたっているが、なかなか継続しない。</p> <p>考えられる理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアであるため、個人が余裕のあるとき（時間、気持ちの両方）に限る。 ・どう支援したらいいのか、どこまで支援したらいいのか迷うことがある。 ・受け入れる学校側も、ボランティアにどこまで求めていいのか迷う。 ・特別支援教室になって、対応してもらえる時間が確実に減った。という声を聴くがどうか。また、集団での学びならでのコミュニケーションスキルについては、課題があるのではないかとの声も聴くがどうか？ <p>② 放課後デイサービスの状況</p> <p>放課後デイサービスの現状と、児童発達支援センターきらりの現状</p> <p>放デイの制度改正により、サービスを受けられなくなったという話が、前回の全体会であがった。実際、小金井の現状はどうなっているのか？</p> <p>きらりの放課後等デイサービスは現在一日10名で、年度初めにほぼ満杯。待機がある。</p> <p>一時は、放課後デイサービスの開設についての問い合わせがかなりあったが、制度改正などを経て、今はあまりない。一定程度淘汰されたのではないかと？</p>	

③ その他

*12月シンポジウムの内容と広報

内容 講演会

「誰もが暮らしやすい小金井に～障害者差別解消条例をきっかけに変えていこう～」

1部 講師 野沢和弘氏による講演（1時間）

2部 市民を交えたパネルディスカッション（1時間）

パネリスト候補（野沢和弘氏、自立支援協議会委員、障害当事者、商工会、PTA）

*DET研修の内容（資料1参照）と提案機会

【課題解決に向けて】

① 学校における人的支援について

他の自治体の取り組みの研究から、・専門的な支援ができる人材育成

・要望のある学校に人材配置する体制づくりなどが必要と考えられる。

教育について協議している会議体とのオフィシャルな連携が必要。協議し合えるような場を持ってないか？（せめて積極的なへの情報提供なども考えられる。）

② 放課後デイサービスの現状把握が必要。そのうえで、出来ることを考えていく。

③ その他

・12月シンポジウムの内容

パネルディスカッションの依頼は自立支援協議会委員を通しておこなう

最初の広報は9月29日の「条例施行記念意見交換会」でチラシを配布する。

・DET研修の内容（資料1）と提案機会

今回の合同部会も議題が満載なので、次回の合同部会で提案の時間をもらえるようお願いしたい。

【次回の協議内容予定】

※次回部会提案内容「医療的ケア児の支援体制について」

【次回の開催日程】